

うんとこしょ

Nishikie Kindergarten | Phone 63-2038 | Fax 63-2034

「ぼくの頭よりデッカイよ」(>_<)
「重たい！」3.5Kg! もありまし
た。重たいはずです。9月に種ま
きして収穫までの約5ヶ月。途中、
みんなで草取り頑張って、この日
を楽しみにしてきました。(^-)

自然との関わり・生命尊重

自然に触れて感動する体験を通し
て、自然の変化などを感じとり、
好奇心や探究心をもって考え、言
葉などで表現しながら、身近な事
象への関心が高まるとともに、自
然への愛情や畏敬の念をもつよう
になる。また身近な動植物に心を
動かされる中で生命の不思議さや
尊さに気づき、身近な動植物への
接し方を考え、命あるものとして
いたわり、大切にすることを期
待しています。



うんとこしょ ドッコイショ!

それでも デコン (桜島大根) は抜けません! (>_<)

さあどうした! もっと力を出して!! うんとこしょ!

小1の国語で出てくる「大きなカブ」じゃないですが、大
きな桜島大根を抜くのに4人がかりでも中々抜けません。
まるで、劇を見ているみたいでした。笑(^) 方向を変えたり
順番を交代したりして、やっとのことで抜けました。
(^;) 子どもたちも満足げな様子でした。

体験活動は、豊かな人間性、自ら学び、自ら考える力
などの生きる力の基礎、子どもの成長の糧としての役割
が期待されています。

つまり、思考や知識を働かせ、実践してよりよい生活
を創りだしていくために体験が必要であるということ
ですね。





本物はいきなり 魂を ゆさぶってくる（直接体験）

体験活動には、実際に実物に関わっていく「直接体験」のほか、インターネットやテレビ等を介して感覚的に学び取る「間接体験」、シミュレーションや模型等を通じて模擬的に学ぶ「疑似体験」があります。

子どもたちは間接体験や疑似体験の機会が圧倒的に多くなった今、子どもたちの成長にとって負の影響を及ぼしていることが懸念されています。

子どもたちは、ヴァイオリンの生演奏を聴くなんてことは、初めてのこと。本物のヴァイオリンを触って弾いてみて、自分なりにいろんなことを感じたのではないのでしょうか。もしかして、将来、音楽家が誕生するかも知れませんよ。(hiroyo先生naoさんありがとうございました)

農園引継ぎ式(^_^)v

いよいよ、ゆり組さんからばら組さんへ農園をバトンタッチすることになりました。その引継ぎ式を、桜島大根の収穫を終えた畑で行いました。元気な声でばら組さんは「がんばります！」と頼もし返事をしていました。(^^)v

